

小金井市 下水道使用料改定 及び総合計画・経営戦略の 改訂に関する検討について

次第

1. 前回までの審議内容の確認
2. 答申書（案）について
3. 総合計画・経営戦略の策定背景
4. 総合計画・経営戦略の内容と今後の審議予定

1. 前回までの審議内容の確認

審議会	議題	審議結果
令和7年度 第2回審議会 (9月30日)	下水道料金の目標改定率について	- 物価上昇として、日銀予測をベースにしたケースが最も市民への説明が明確である。 - 経費回収率を現状と同等に維持するものとして20.6%（※）の改定が必要
	下水道使用料の減免基準の見直しについて	減免基準の見直しについては、次回審議会で継続協議とする。
令和7年度 第3回審議会 (11月10日)	下水道料金体系の検討	- 負担の公平性に配慮し、現行の体系ごとの改定率を一律同じとした。 - 現行使用料は5円単位であったが、公正性を考慮し、使用料体系は1円単位とする。
	井戸水利用者（家事用）の使用料体系について	この規定が適用される井戸水利用者（動力式揚水設備がなく、かつ、家事のみに使用）の使用量は、小金井市下水道条例施行規則第37条第1号に1世帯1か月15m³と規定されていることから、今回の改定で適用となる使用料体系の基本使用料に15m³分の使用料を加えた額とし、小金井市下水道条例第14条の表中の井戸污水（家事用）の項を削除する。
	公衆浴場の使用料の取り扱い	市内の公衆浴場は1つのみであり、公衆浴場を取り巻く環境は厳しさを増しており、公衆衛生の確保に向けた対応が必要であるため、単価は据え置きとする。
	下水道使用料の減免について	生活困窮者等に対しては、別の減免規定があることから、使用料改定のタイミングと合わせて、65歳以上非課税世帯の減免は廃止の方向で見直しをする。

※審議会当時お示した改定率は20.7%であったが、審議会後に都の建設負担金の金額が提示された等の理由により、数値を見直した結果必要な改定率は20.6%となった。

2. 答申書（案）について

【答申書の主な記載内容】

小金井市公共下水道事業の経営状況（p3）

- 老朽化対策等による事業費の増加と流域下水道維持管理負担金の単価の見直しによる維持管理費の増加、物価上昇等により財政状況が悪化していくことが見込まれる。
- 財政健全化のため料金改定が必要と考える。

下水道使用料体系（p4）

- 基本水量や従量区分は変更せず、基本使用料、使用料単価を改定することを提案
- 単価設定は1円単位での単価設定
- 単価の改定率は負担の公平性に配慮し、改定率は一律同じとする。
- 公衆浴場の単価は据置とする。
- 井戸汚水については小金井市下水道条例施行規則第37条第1号の規定に基づいた水量に則った使用料とし、小金井市下水道条例第14条の表中の井戸汚水（家事用）の項を削除する。
- 改定時期は手続きや周知期間も考慮し、令和9年4月からとする。

2. 答申書（案）について

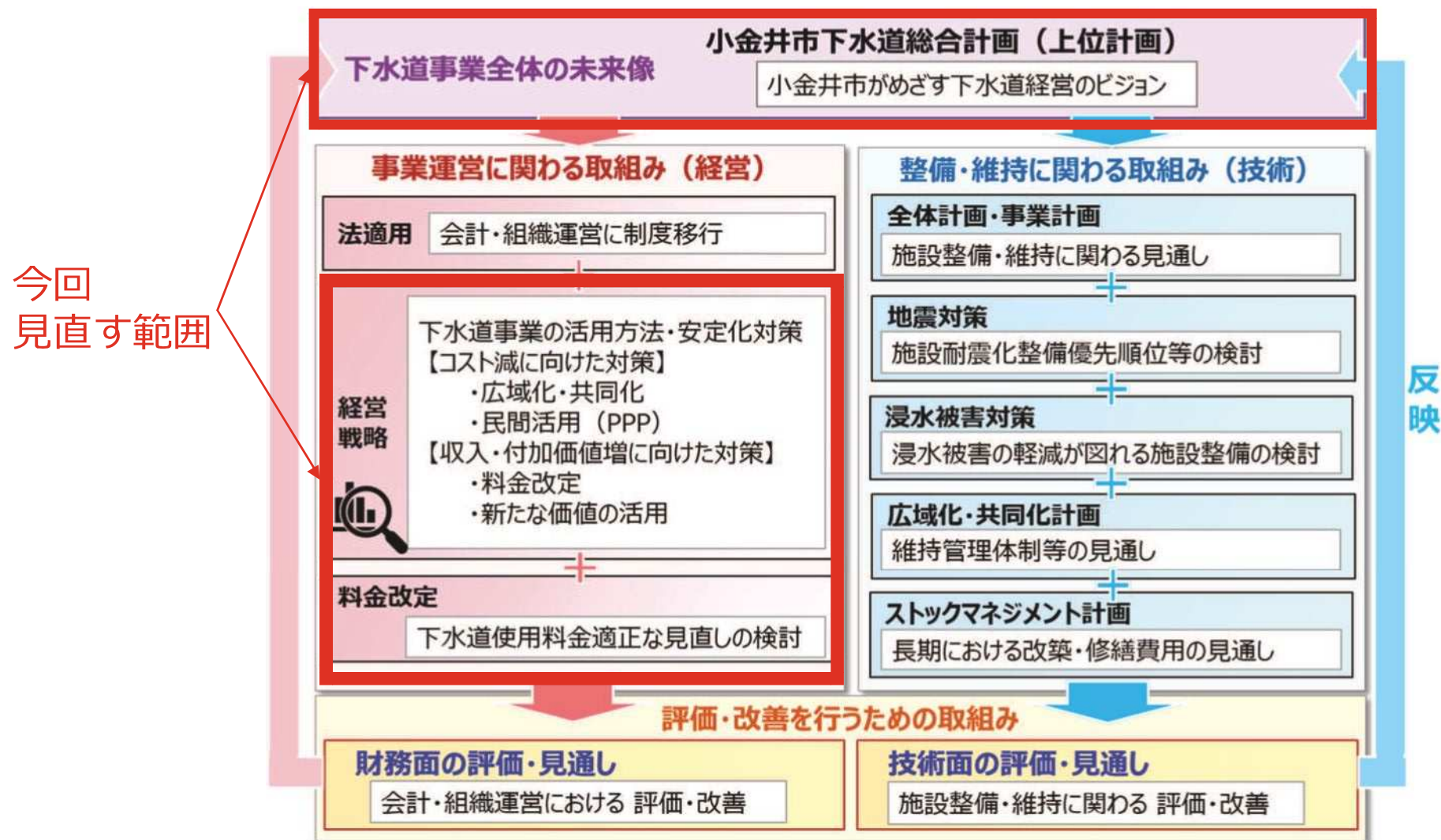
【答申書の主な記載内容】

附帯事項（p6）

- 下水道事業の経営に影響を与える要因は多岐にわたり、且つ、急激な変動が生じることも考えられることから、定期的に審議する場を設け、継続的に下水道事業の在り方を検証していただきたい。
- 減免制度の見直しも行うことから基本水量の見直しは実施しない方針としたが、今後もあり方について継続的に検討していただきたい。
- 減免制度は各種準備されているが、「65歳以上非課税世帯を対象とした減免制度」を有している都内自治体はなく、特に本市においては生活困窮者等に対しては、別の減免規定があることから、世代間の負担の公正性を考慮し、使用料改定のタイミングと合わせて廃止の方向で見直しを行う。

3. 総合計画・経営戦略の策定背景

(1) 小金井市下水道総合計画と経営戦略の位置づけ



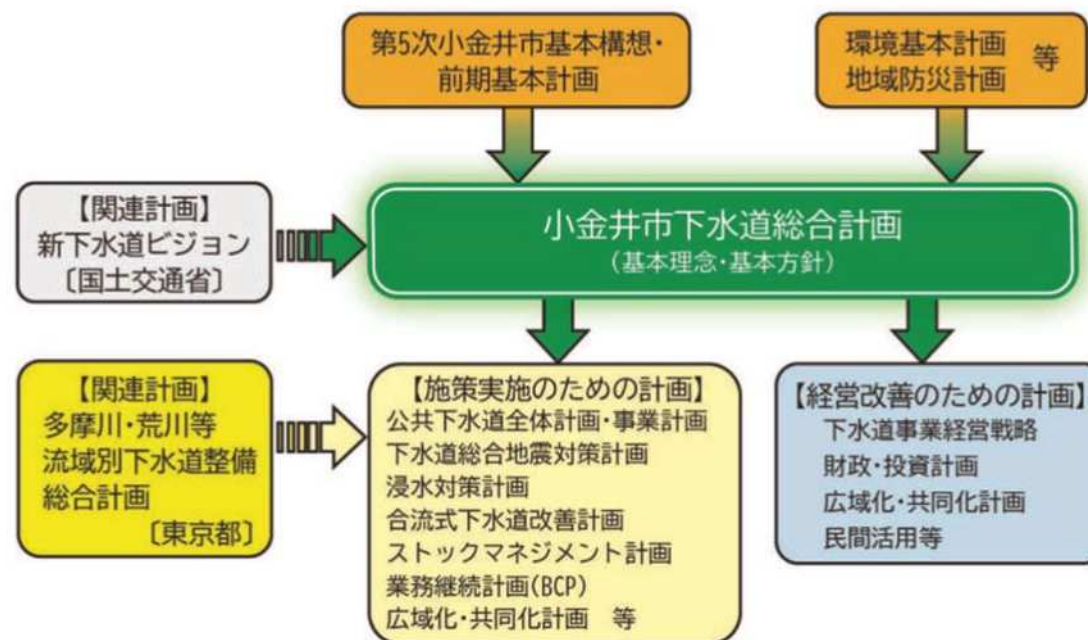
3. 総合計画・経営戦略の策定背景

(2) 小金井市下水道総合計画（現行）について

- ◆ R4年度に策定
- ◆ 第5次小金井市基本構想・前期基本計画等と連携。
- ◆ 今後の下水道の基本方針や施策を総合的にまとめたもの。



小金井市



小金井市下水道総合計画の位置づけ

3. 総合計画・経営戦略の策定背景

(2) 小金井市下水道総合計画（現行）について

- ◆ 計画期間は令和22年度まで
- ◆ 短期計画が令和8年度までで完了するため、時点修正を行う



小金井市下水道総合計画の計画期間

3. 総合計画・経営戦略の策定背景

(2) 小金井市下水道総合計画（現行）について

◆下水道総合計画(R5.3)の「基本理念」

未来につなげる水のみち
(守りますみんなを守った下水道)

◆下水道総合計画(R5.3)の「基本方針」

- ① より安全で安心なまちづくり
- ② より良好な水環境づくり
- ③ 持続可能な事業づくり

3. 総合計画・経営戦略の策定背景

(2) 小金井市下水道総合計画（現行）について

◆ 現在取り組んでいる施策

【基本方針】

より安全で安心な
まちづくり

より良好な
水環境づくり

持続可能な事業づくり

【主要施策】

- ① スtockマネジメント計画に基づく下水道施設の適切な維持管理
- ② 下水道施設の耐震化
- ③ 効率的・効果的な雨水対策の推進

- ① 水環境の保全
- ② SDGsの達成に向けた取組の推進

- ① 経営の健全化
- ② 執行体制の確保
- ③ 市民との情報共有・協働の推進

3. 総合計画・経営戦略の策定背景

(3) 小金井市下水道事業経営戦略について

◆ 経営戦略の概要

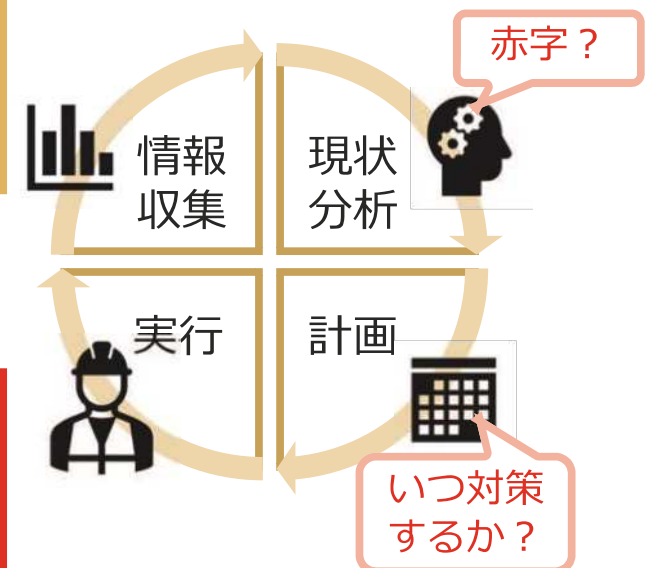
- 将来にわたって安定的に事業を継続していくため、今後10年間の収支の見通しと取り組むべき施策を示した中長期的な経営の基本計画。
- 本市では令和2年度に策定後、総合計画と合わせて令和4年度に改定を実施
- 策定時から物価高騰等の外部環境の変化が生じており、これらに応じて、下水道使用料改定等も含めた投資・財政計画の見直しが必要

課題1：人口減少や生活様式の変化に伴い水道使用量が減少することによる、下水道使用料収入の減少

課題2：施設の老朽化による更新投資の増大

【総務省】

「経営戦略」を策定し課題を解決せよ！



4. 総合計画・経営戦略の内容と今後の審議予定

総合計画

第1章 総合計画の概要

策定目的、計画の位置づけ、計画期間

第2章 基本理念と基本方針

下水道事業の基本理念、基本方針

第3章 下水道事業の現状と課題

事業の概要、事業の現状と課題

第4章 主な施策

主な施策の体系、展開

第5章 投資財政計画

下水道事業員の構成、投資財政計画

第6章 今後の事業の進め方

短期計画、中期計画、長期計画

下水道事業の施策や基本方針の設定

現状分析・
課題は共通

将来事業環境
の予測は共通

現計画は概ね
20年間実施

経営戦略では
10年間の財政
について注目し、
経営目標等を設定

経営戦略

第1章 経営戦略策定の趣旨と位置づけ

策定の趣旨、計画期間、位置づけ

第2章 下水道事業の現状と課題

下水道事業・施設、使用料、組織体制の現状、
経営指標を用いた現状分析

第3章 将来の事業環境

処理人口、有収水量等将来の事業環境の予測

第4章 経営の基本方針

経営の基本方針

第5章 長期的な財政シミュレーションの実施

財政シミュレーションの期間、基本条件、結果

第6章 経営目標の設定、経営課題の優先付け及び改善策の方向性

経営目標の設定、課題の優先付け、改善策の方向性

第7章 投資・財政計画

主な施策の体系、展開

10年間に
注目

10年間の経営の見通し・課題の改善

4. 総合計画・経営戦略の内容と今後の審議予定

回数	開催 予定時期	審議内容			
		料金改定関連	経営戦略改訂関連	総合計画関連	その他
R7年度 第4回	R7. 12.18	答申書案について	- 経営戦略及び総合計画策定の背景について - 経営戦略・総合計画の目次構成について		今後の審議会スケジュール案について
R7年度 第5回	R8. 1.22	- 第4回審議会内容を反映した答申書の提出 - 使用料改定にあたっての住民周知方法について	- 小金井市下水道事業の現況及び課題の整理結果 - 既往計画の振り返り（目標達成状況の確認） - 小金井市下水道事業の将来事業環境の検討結果	基本方針、基本理念	
R8年度 第1回	R8.7		- 令和7年度決算を踏まえた下水道事業の現況及び財政シミュレーション結果の報告 - 経営の基本方針、経営目標の設定 - 経営課題の優先付け及び方向性について	- 事業推進における理想像、目標像の設定について - 目標実現に向けた方策案 - 総合計画（素案）	
R8年度 第2回	R8.8		総務省提出様式の作成状況報告（中間）	総合計画(案)について（第1回審議事項の反映）	
R8年度 第3回	R8.9	今後予想される料金改定見直しスケジュール	総務省提出様式の作成状況報告	総合計画(案)の策定について	パブコメの実施（10月から）について
R8年度 第4回	R8.11		- 総務省提出様式の作成状況報告 - 経営戦略改訂版(案)の提出	パブコメ結果を反映した総合計画(案)の提出	
R8年度 第5回	R9.3		経営戦略の公表について	総合計画の公表について	
		検討の経緯及び検討内容のまとめ（総括）			

4. 総合計画・経営戦略の内容と今後の審議予定

総合計画

経営戦略

第1章 総合計画の概要

策定目的、計画の位置づけ、計画期間

第1章 経営戦略策定の趣旨と位置づけ

策定の趣旨、計画期間、位置づけ

R7年度
第4回
審議内容

第2章 基本理念と基本方針

下水道事業の基本理念、基本方針

第2章 下水道事業の現状と課題

下水道事業・施設、使用料、組織体制の現状、経営指標を用いた現状分析

R7年度
第5回
審議内容

第3章 下水道事業の現状と課題

事業の概要、事業の現状と課題

第3章 将来の事業環境

処理人口、有収水量等将来の事業環境の予測

第4章 主な施策

主な施策の体系、展開

第4章 経営の基本方針

経営の基本方針

第5章 投資財政計画

下水道事業員の構成、投資財政計画

第5章 長期的な財政シミュレーションの実施

財政シミュレーションの期間、基本条件、結果

第6章 経営目標の設定、経営課題の優先付け及び改善策の方向性

経営目標の設定、課題の優先付け、改善策の方向性

R8年度
第1回
審議内容

第6章 今後の事業の進め方

短期計画、中期計画、長期計画

第7章 投資・財政計画

主な施策の体系、展開